

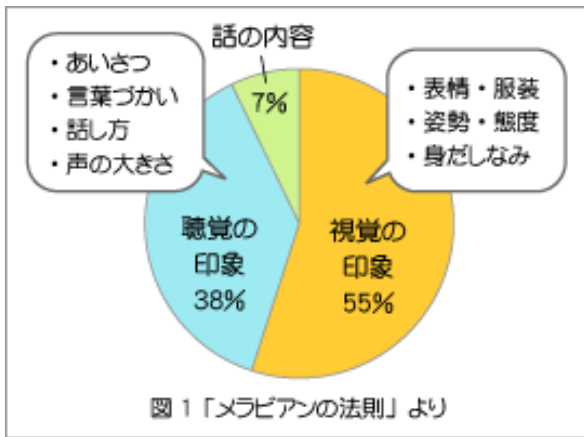
YES 通信

〒819-1116 糸島市前原中央2-2-22波多江ビル2F 電話 321-4119 2014年1月号

面接で重要なのは「第一印象」

二月には公立高校の推薦入試が始まります。その時に、一番時間を費やすのが面接練習です。

私は、サラリーマン時代に採用の仕事もしてきたので、いろいろな人の採用に関わってきました。そこで何百人という人と面接をしてきました。そんな私が指導していることは、面接の際の話す内容もさることながら、いかに第一印象をよくするのか?という点です。



「コミュニケーションの勉強をしていて、「メラビアン法則」というものに出会いました。この法則と出会った時に「なるほど!」と感心したことを今でも鮮明に覚えています。「メラビアン法則」では、相手の印象を決めるのに占める「話の内容はたったの7%」となっています。(図1)話の内容よりも外見、立ち居振る舞い、声の大きさや質が相手の印象を決めてしまつてしまいます。私もこのこと知ってから、今まで感覚的に行っていたことを、理論的に理解することが出来たのです。

面接の対策で一番力を入れているのは、やはり笑顔のつくり方です。次に、明るく感じられる喋り方を指導しています。

そのためには、リラックスすることも大切なので、まずは面接官がどんな状態で面接に挑むのか?面接官の立場になって考えてもらって

います。面接官は本人がどのような生徒なのかを知りたいので、本来、生徒がリラックスできるように対応するのがいいです。

そのため、最初はリラックスして答えやすい簡単な質問をして場が和んだところで本当に聞きたい質問をするのです。しかし、受ける側の生徒は必死なので、「今日はここまでどうやって来たんですか?」「や「受験番号は何番ですか?」という質問にさえどう答えればいいのか?と悩んでいたりのりです。ですからまずは不要な緊張をしないで済むような話をした上で、第一印象の良くなる方法を教えてください。

そのために一番重要なことは口を大きく開けて喋ることです。一般的に明るい人は口が大きく開いていて歯が見えています。逆に暗い印象の人は口が閉じたまま歯が見えていません。普段から意識することが大切です。

企業が服装や身だしなみに気を遣うのも、第一印象を意識しているからです。

やる気相談室

待つ

沈黙は金なりとはよく言ったものです

コミュニケーション
のスキルの中に
沈黙のスキルとい
うのがあるのだ
です。一体全体沈黙
がスキルだなん
て・・・と思う
方もおいでと思
うのですがどのよ
うなことなのでしょう？

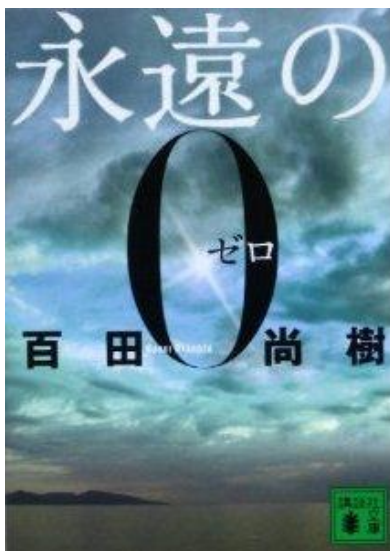
会話で注意しなければいけ
ないことは焦らないこと
です。子供と話しているときは
尚更です。私たちは、会話が
途切れると不安になります。
特に私のようにくしゃべる
タイプの方は沈黙を恐れる傾
向にあります。
私もコミュニケーションを
学び始めていろいろタイプ

の人がいることを知りまし
た。私はどちらかというと言
葉の正確性よりも早さを重視
するタイプなのですが、正確
性を重視するタイプの方は質
問されてもすぐには答えたく
れません。しかし、だからと
いつて考えていないわけでは
なく質問に答えようと必死で
考えているので、考えている
最中で口を挟まれるととても
ストレスになります。

うまくいくかなあ？」とい
う前向きな質問の場合は、普
段あまり考えたことがないの
で、すぐに答えられない場合
が多いのです。実は、そのよ
うな時こそ一番子供が成長す
る時なのですが、待ちきれず
に口を挟んでしまうのです。
沈黙を怖がらずに、沈黙を
うまく使えるようになること、
案外びっくりするような答え
が返ってきたりするのは、
是非皆さんも、自分を少し
抑えて沈黙のスキルを使っ
てみてください。きっとその後
に、みなさんがハツとするよ
うな答えが返ってくると思
います。
コミュニケーションはスキ
ルです。くり返し使ってみ
てくださいね！

書籍紹介コーナー

永遠の0



今年の正月に永遠の0の映画を家族で見してきました。普段は映画を見ながらお菓子を食べたりジュースを飲んだりする私たちですが、この映画が始まったら一斉に食べたり飲んだりしなくなりました。それだけ引き込まれた映画でした。生徒や講師たちにも勧めているのですが、行っていない方はオススメです。原作にかなり忠実に映画が再現されているとのことでした（ちなみに私もまだ本は読んでいません）ので今回、自分が読むという気持ちも込めて紹介させていただきました。映画を見て、「なんて自分は恵まれているんだろう。」そして、「もっと生きている時間を大切にしないといけない。」という気持ちになりました。感動もしたのですが、それ以上に背筋が伸び意識が変わったことが、この映画の素晴らしいところです。映画を観た後の日々がハッピーになる映画でした。きっとこの本もそんな気持ちになる本だと思いますので、みなさんも一緒に読んでくださいね（＾＾）！